



大阪プロバスクラブ

会報 第384号

2023年9月13日発行

Monthly Bulletin of

The Probus Club of Osaka

例会会場：ホテルモントレ大阪 06-6458-7111
 例会日：2022年7月より毎月第2水曜日12時～14時
 ○創立2001(平成13)年7月9日創立記念式7月16日
 ○スポンサークラブ：箕面千里中央ロータリークラブ
 ○友好クラブ：箕面ロータリークラブ
 ○会長：山下恵司 ○幹事：川端崇且 Tel：090-2702-7212
 ○事務局：(幹事宅)〒562-0044 箕面市半町2-5-23
 ○会報担当：西宮富夫 pxi06603@nifty.com
 ○大阪プロバスクラブ会報：<http://osakapurob.exblog.jp/>
 ○全日本プロバス協議会：<https://www.all-japan-probus.com/>
 (R4年11月の第10回総会で決定された新体制)
 会長 田中信昭、幹事長 一瀬 明、会計 飯田富美子
 ○日本のプロバスクラブ・関西 Blog 版：
<http://probuscent.exblog.jp/>

R5年8月初旬～R5年9月初旬までの更新分(順不同)

クラブ	会報	記事一部
旭川	会報第217号	白鳥秀樹会長、親睦交流委員長、社会奉仕委員長、他各委員長のご挨拶、ハッピーボックス、他
東京八王子	プロバスだより第333号	臨時総会(人事案、事業報告、会計決算書他承認)、各委員会活動方針、27期を振り返って(池田ときえ会員)、他
姫路南(二水会)	会報第118号	6月例会卓話：姫路から世界に(梶原会員)、7月例会卓話：「藤井聡太」と「大谷翔平」の話(長谷川会員)、他
神戸北	9月例会案内	卓話「ニュージーランドの旅」弾昌子、10月野外研修「日本三景天橋立」森田守彦会員レンタカー運転、他
大阪	会報第383号	新例会場(エスカーレカフェールーム)紹介、年次総会(役員・委員長一覧表、会計報告、事業報告等承認)、他
奈良	会報第110号、第111号	110号：発酵法によるアルコール飲料ってどんなものがあるか?(藤田藤樹夫)、111号：定期総会(役員理事選出、収支報告、予算案等承認)、会員通信・同好会報告、あれもこれも大和からVol7、他、
北九州	月報5年8月号 NO.206	定時総会(事業計画、収支決算等承認)、随筆「日本人は素晴らしい・・・と思っていた」、植田佐世子、他

今回 第385回 通常例会 2023年9月13日(水)
 会場：ホテルモントレ大阪 12:00～14:00

- 大阪プロバスの歌(作詞：渡辺 孟 補詩：田村徳郎)
- ① プロバスクラブへ集まろう 気の合う仲間とお昼時
元気に歌おう会の歌 第二の人生また楽し
 - ② プロバスクラブに集まって 優しく気軽に話そうよ
見せたい自慢の得意技 遊びのプランもまた楽し
 - ③ プロバスクラブに集まれば 高まる奉仕の心意気
世界に広がる和の願い 明日も愉快地に生き抜こう

●『うさぎ』 作詞・作曲：わらべ歌

うさぎ うさぎ
 なに見てはねる
 十五夜お月さま
 見てはねる

前回 第384回 ビア・パーティ例会
 2023年8月9日(水)
 会場：ホテルモントレ大阪 16:00～19:00

◎第384回 ビア・パーティ例会

- 司会進行：野村尚子会員
- ソング：吉川栄子会員 ●『夏の思い出』
- 参加者報告：司会者より会員12名、ゲスト21名、合計33名が参加との報告があった。
- 会長挨拶：山下恵司会長よりご挨拶があった。
- 幹事報告：川端崇且幹事より次回、9月13日(水)例会予定、等の連絡があった。
- 誕生月会員：(右)(8月)田中浩三会員、(左)山下恵司会長



- OH-BOX 担当委員長より7名21,000円との報告。
- ★山下恵司会員：パーティ楽しみましょう。
- ★川端崇且会員：ビア・パーティご参加の皆様感謝。
- ★西宮富夫会員：台風7号に期待しよう。早く涼しくなしてほしい。
- ★宮田鐵夫会員：久しぶりの例会出席を祈念して。
- ★伊丹谷五郎会員：特になし。
- ★浅山紀久子会員：暑い中、パーティご参加ありがとうございました。感謝申し上げます。

○食事タイム(ビア・パーティ)司会：浅山紀久子会員
 ★乾杯：箕面千里中央ロータリークラブ植田豊貴会長



ワイン名：
シャトーラグランジュ



生産地：ボルドー
サンジュリアン地区

ワイン名：シャトーラグランジュ

生産地：ボルドー、A.O.Cサンジュリアン

生産者：シャトー・ラグランジュ



(文はサントリー：シャトーラグランジュの歴史より引用) (画像はENOTECA online より引用)

(シャトー・ラグランジュは) 1929年の世界大恐慌、続く戦争で経済的な没落に追い込まれてしまいました。

そんな中 1983年、日本のサントリーが経営に参画。(中略) 地に堕ちたシャトーの名声を取り戻すため(中略) 荒れ果てた畑に改植を行い、醸造設備も一新。(中略)

「シャトーもの」と呼ばれるワインの品質基準に見合うぶどうは、樹齢が20年以上の樹から収穫します。サントリーが経営参画した1983年以降に植えた苗木が、21世紀に入って、ラグランジュの主力になってきました。

○ゲストクラブ他のご挨拶 (会場が盛り上り、騒音がひどい状態でご挨拶)

★神戸北プロバスクラブ：山田会長は用事で退席。弾昌子幹事よりご挨拶。

★奈良プロバスクラブ：久保田会長より今年10年目で来年3月18日記念行事を行う予定等についてご挨拶。(詳しくは4ページ参照)

★小林惇三元会員：ご挨拶あり。

○アトラクション：北岡樹元会員によるシャンソン等



(奈良プロバスクラブ兼松祥介様提供写真)

○翌日の会員LINEメッセージ (適宜選択・順不同)

★吉田会員：山下会長はじめ役員の皆様、昨夜はお疲れ様でした。何よりも盛んなパーティーでした。ありがとうございます。

★川端会員：皆さま方のお気遣いで賑やかなビア・パーティになりました。ありがとうございます。

★吉川会員：おはよう御座います。大勢で盛り上がり良かったです。お疲れ様でした。

★浅山会員：ビア・パーティも盛会の内に無事終了、会員の皆様方のご協力のおかげです。感謝 親睦委員会よりお礼申し上げます

◎「サンタフェのサンミゲル教会取材経験」浅山紀久子会員のゲスト藤川貴史様のお話

(会報担当より：今回はゲストを招いての例会であり、ゲストの貴重なお話も例会の記録となります。)

私(藤川貴史)はグラフィックの会社をやっていますが、JTBの海外取材では北米、オセアニアの自然を担当しています。取材画像をパンフレット・ムービー資料などに編集するわけです。

クルーは多くて4~5人で、撮影機材などは提携先の航空会社に運んでもらうためトラブルは起こったことはありません。

取材例を挙げると、アメリカのサンタフェの取材は印象に残っています。サンタフェのサンミゲル教会はアメリカ最古の教会です。ところがここで篠山紀信が「宮沢りえ」のヘアヌードを撮ったため、「聖地を冒涇した!」と日本人は出入り禁止となっていました。我々は当局に撮影を申請し、3日くらい審査を受けてなんとか撮影しました。

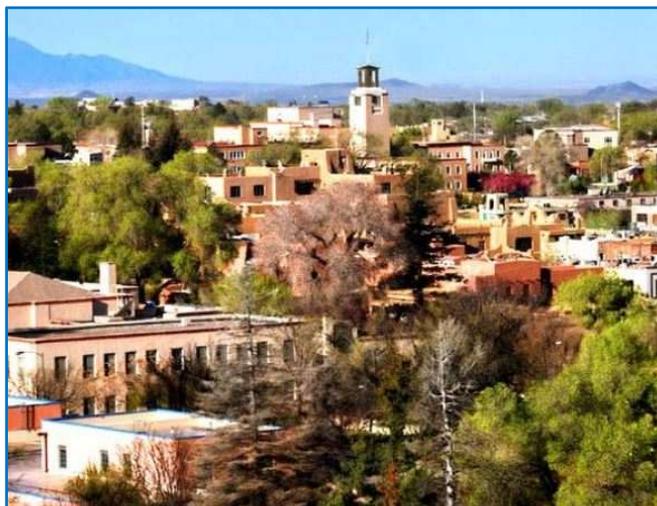
●サンタフェとその位置 (Google mapより作成)



★【現在】のサンタフェ (Wikipediaより)

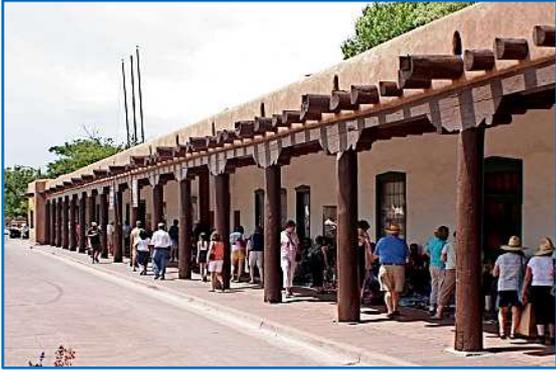
サンタフェは、アメリカ合衆国のニューメキシコ州北部に位置する同州の州都。人口は6万7947人(2010年国勢調査)。建国より遥か前の1610年に創設された長い歴史を持つ古都。(中略) 「アメリカの宝石」と呼ばれ、歴史的な街並みや建築物を残し、独特の食文化を持つ観光都市として栄えている。

また、同市は芸術家が多く住み、美術品にあふれ、音楽祭や工芸祭が開かれる、芸術の町としても知られている。



サンタフェの街並み (Google Mapより作成)

★【1610年】サンタフェはヌエボ・メヒコの首都に
(文画像とも Wikipedia より)



1610年に完成した総督邸。現在は博物館

1540年にヌエバ・ガリシア（現メキシコ西岸）の町コンポステーラから遠征してきたスペインのコンキスタドールにより北部ニューメキシコ帯は征服された。1598年（中略）この地にヌエバ・エスパーニャ副王領の新しい州**サンタフェ・デ・ヌエボ・メヒコ**（Santa Fe de Nuevo Mexico）を創設し、サンタフェはその首都として1607年に建設され、入植が始まった。都市を建設した第3代総督は、この都市を「アッシジのフランチェスコの聖なる信仰に忠実な王都」と名付けた。1610年には総督邸が完成し、**正式にヌエボ・メヒコの首都**となった。

★【1848年】アメリカが獲得したメキシコ割譲地（ヌエボ・メヒコの首都サンタフェも含まれる。）

（画像引用元：日刊ゲンダイ DIGITAL「訪米に翻弄されたメキシコの近代 米国との関係から考える」より引用）



（以下、Wikipediaより）メキシコ割譲地とは、米墨（アメリカ-メキシコ）戦争（1846年～1848年）終結に伴うグアダループ・イダルゴ条約によりアメリカ合衆国が獲得した現在の南西アメリカの地域の歴史上の名称。1848年にアメリカ合衆国がメキシコより割譲させた。割譲地域の面積は、それまでの全メキシコ領のおよそ3分の1となる。（有名なカリフォルニアのゴールドラッシュ、テキサスの油田発見はその後起こった。）

●サンタフェのサンミゲル教会

（文は「キュートな街並みとアメリカの歴史も堪能！サンタフェのおすすめスポット」より引用）

アメリカ最古の教会といわれる「**サンミゲル教会**」、初めていつ建てられたかは正確には定かではないが、アメリカ合衆国建国以前の1610年頃といわれている。教会は建設以降400年に渡り、先住民と入植者との争いなどで幾度となく破壊され修復再建が繰り返された。

（この教会で篠山紀信が宮沢りえのヘアヌードを撮影したとのことである。）（画像は Google Map より作成）



★【1991年】宮沢りえ写真集「サンタフェ」発売
（文は宮沢りえプロフィールミドルエッジ記事より引用）（画像は Wikipedia）



1991年11月13日宮沢りえさんが18歳の時に発売されたヌード写真集が『サンタフェ』です。何が凄かって、**写真集の売り上げ部数が史上最高の155万部で、今だにその記録が破られていない伝説の写真集**だからです。

1991年6月米ニューメキシコ州の古都・州都サンタフェ市で撮影されたそうです。（中略）撮影されたのは、あの篠山紀信さんです。何でも写真集の撮影にあたり、りえさんのお母さん（当時はマネージャー）と会った時にダメもとで、ヌード写真の提案をしたそうです。当時、りえさんは三井のリハウスのCMや日本アカデミー賞新人賞を受賞するなどトップアイドルですから、断られても当然だと思っていたそうです。（中略）ダメもとで聞いたところ、お母さんは、あっさりOKされたそうです。聞いた篠山紀信さんも驚いたとか。

以上

◎「奈良は国宝が多く、しかも触れる」奈良プロバスクラブ久保田実雄会長

奈良プロバスクラブは今年10年目で2024年3月18日に10周年記念事業を行います。今年会員数は40名となり、「楽しくなければプロバスでない！」をモットーとしています。ところである地方へ行った時、感じたのですが国宝が少ない。しかし、奈良は国宝が多く、しかも触れるほど身近にあることを再認識しました。また、奈良プロバスクラブでは神社の宮司さんや寺院の住職さんが一緒に酒を飲めるのですが、これも奈良では、のことと考えます。

(会報担当より：普通の生活では「国宝」と言ってもピンとこない。京都妙心寺退蔵院の国宝「瓢鮎図」を見に行ったことがあるが、模本であったし、基本的には古い掛け軸であり、そのまま忘れても生活には関りが無い。

しかし、奈良では国宝建築が多く、国宝を身近に見ながら生活することになる。東大寺をはじめ、興福寺、唐招提寺、法隆寺など公園や住宅地の中に立っているから、普通に散歩しながら国宝に接することとなる。これは奈良の暮らしの特徴と考える。)

●国宝ランキング全国トップ7

(次表は、Webサイト「くにとリサーチ」都道府県別国宝保有ランキング(72019/2/1文化庁)より作成した。)

全国の国宝ランキングでは、東京都の国宝数は最も多いが、国宝建築は2件しかない。また、京都奈良を含めた近畿6府県が国宝保有数のトップ7に入っていることは興味深い。

順位	都府県名	国宝総数	国宝建築数	建築以外の国宝数
1	東京都	281件	2件	279件
2	京都府	234件	51件(72棟)	183件
3	奈良県	203件	64件(71棟)	139件
4	大阪府	62件	5件(8棟)	57件
5	滋賀県	56件	22件(23棟)	34件
6	和歌山県	36件	7件(7棟)	29件
7	兵庫県	21件	11件(14棟)	10件

★奈良の国宝建築



国宝法隆寺東院「夢殿」(画像引用元：Webサイト「法隆寺」)

奈良の国宝建築は推古・聖徳太子の時代の「斑鳩宮」跡に建てられた法隆寺から始まり、東大寺をはじめ奈良時代の寺院建築が多い。都の変遷が、奈良の国宝建築にそのまま関わっているように思える。

33代推古天皇 601年聖徳太子「斑鳩宮」建立、607年斑鳩宮に法隆寺建立

40代天武天皇 飛鳥浄御原宮 672～694年

41代持統天皇 藤原京 694～710年

43代元明天皇 平城京 710～784年(聖武天皇が741年紫香楽京へ遷都したが745年平城京へ戻る。)

★京都の国宝建築



国宝西本願寺「唐門」(画像引用元：京都の国宝一覧リスト「本願寺唐門」)

京都の国宝建築は平安末期から室町時代や豊臣秀吉の時代、江戸時代に関連するものが多い。

三十三間堂は平安末期の後白河法皇が建てたと言われ、室町時代の慈照寺(銀閣寺)は1490年義政死後完成している。

西本願寺の飛雲閣や唐門は秀吉の聚楽第や伏見城などから移築したと言われている。

二条城は江戸時代1626年建築の国宝である。

●国宝の指定基準

(文画像引用元：「デザイナーが書いている茶道の話」)

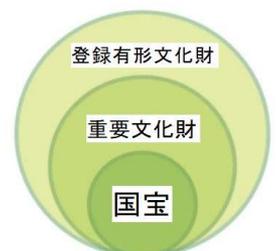
国宝はいきなり国宝に指定されるのではなく、有形文化財の中から選ばれたものが、重要文化財になり、そのなかから国宝が指定されます。

重要文化財から国宝に指定されるときに条件とされることは、

- ・世界文化の見地から価値の高いもの
- ・製作が極めて優れ、かつ、文化史的意義の深いもの
- ・学術的価値が極めて高く、かつ、歴史上極めて意義の深いもの

特に国宝として指定される場合には、「世界文化の見地」とはいつているので、日本の歴史や独自の技術を振り返るために、重要な役割を担える物が選ばれるということでしょう。

以上



次回 第386回 移動例会 2023年10月11日(水)
担当：親睦活動委員会